

5月21日：朝方は軟調だったが、VN指数は3日続伸

「今週初めにマーケットは利益確定売りを受けるかもしれないが、指数はその後すぐに上昇トレンドに戻るだろう」と証券会社のアナリストは言った。

ホーチミン市場の0.45%高の1,283.93ポイントで取引を終えた。

同指数は先週1.39%上昇していた。

先週の各営業日にそれぞれ7億1,780万株以上が取引され、売買代金もそれぞれ22兆3,000億ドン（9億6,440万米ドル）となった。

SSI証券によると、指数は1,250ポイントから回復した後、直近の高値である1,286ポイントに近づいている。

「1,350~1,400ポイントを目指して上昇トレンドに戻る前に、VN指数は上値抵抗線を試し、少し売られる可能性がある」（SSI証券）

「概して、マーケットはさらなる高値に向かう好条件を満たした。だがマーケットはシステム負荷といった困難に未だ直面している」（MB証券）

「テクニカル面では、資金流入を追い風にVN指数は1,280ポイントを上抜けた」（BOS証券）

「だが、銘柄によってまちまちの展開となっており、優良株への利益確定売りは今後マーケットに影響を与える可能性がある」（同証券会社）

「最も可能性が高いのはVN指数が上昇トレンドを保ったまま、短期的に1300ポイントの上値抵抗線に向かうことだ。」（同証券会社）

値動きに関して言うと、先週ほとんどの銘柄が上昇した。セクター別では、情報技術が最も上昇し、代表銘柄のFPTグループ（FPT）は10.6%上昇した。

続いて石油ガス関連が上昇し、代表銘柄であるペトロリメックスは4.7%の上昇となった。

銀行株も大きく上昇し、中でも上昇が目立ったのはベトナム投資開発銀行（BID）+5.7%、軍隊商業銀行（MBB）が+5%、テクコムバンクが+4.4%、アジアコマーシャル銀行（ACB）+2.9%、ヴィエティンバンク（CTG）が+2.7%、VPバンク（VPB）

が+1.8%、サイゴンハノイ銀行（SHB）が+1.7%となった。

建材関連株ではホアファットグループ（HPG）が+6.8%、ホアセングループ（HSG）が+3%となった。

「一部銘柄が上昇するのに対し、多くの銘柄は下落また横ばいで推移し、マーケットは非常にまちまちの展開となった。銘柄選択は難しくなっている」（サイゴンハノイ証券（SHS））

「マーケットからの資金の引き揚げが決まると、2018年4月に起きたような大きな売りが出る可能性がある」（同証券会社）

「ベトナム株が最高値を更新した要因の一つには国内投資家による資金流入があった」（同証券会社）

その一方でハノイ取引所では、HNX指数が0.98ポイント高の297.99ポイントだった。

先週同指数は1.1%上昇していた。

それぞれの取引では、売買高が平均して1億4,420万株以上、売買代金が3兆1,000億だった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。